（西暦）　2021 年　12 月　31 日

救急科に入院し、造影剤を使用した患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者　所属　救急医学　職名　講師
氏名　本間　康一郎
連絡先電話番号　03-3225-1323
実務責任者　所属　救急医学　職名　助教
氏名　吉澤　城
連絡先電話番号　03-3225-1323

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。**本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、実務責任者（吉澤　城）までご連絡をお願いします。**

１　対象となる方

西暦 2013 年 4 月 1 日より 2014 年 3 月 31 日までの間に、救急科に入院し造影剤を使用した方。なお、本研究への不参加を表明した方は対象となりません。

２　研究課題名

承認番号　20140447
研究課題名　造影剤腎症発症状況の調査

３　研究実施機関

慶應義塾大学医学部救急医学教室・慶應義塾大学病院救急科

共同研究機関	研究責任者
済生会中央病院救命救急センター	関根和彦
済生会横浜東部病院救命救急センター	船曳知弘

４　本研究の意義、目的、方法

意義・目的：慢性腎臓病(CKD)は成人人口の約 13%(1330 万人)と多く、高齢化に伴い今後も増加していくことが予想されます。救急患者に対する造影剤使用は、造影剤腎症発症のリスク上昇と関連していると予想されますが、現在までで本邦における発症頻度や、リスク、予後に関する報告はあ

りません。救急患者には、造影剤腎症予防に有効とされる輸液が十分に行えないことがあります。本研究では、救急患者におけるこれらの特徴を明らかにすることを目的にしています。
方法：2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日の 12 か月間に慶應義塾大学病院救急科に入院し、造影剤を使用した方を対象にします。電子カルテから、年齢、性別、主訴、既往歴、診断名、治療内容、血液検査および生理検査結果、転帰などを調査します。

５　協力をお願いする内容
上記情報を収集するために、診療録の閲覧、画像データの閲覧をさせていただきます。費用負担は一切ありません。

６　本研究の実施期間
倫理委員会で許可された日～2023 年 3 月 31 日

７　プライバシーの保護について
1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

８　お問い合わせ
本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。
吉澤　城　救急医学　03-3225-1323

以上